

むささび

第46号

令和4年6月17日発行

JForest 北信州森林組合

〒383-0061 中野市大字壁田938-1

TEL:0269-38-0371 FAX:0269-23-5350

URL <http://www.jforest-kitashinshu.or.jp/>

E-mail musasabi@jforest-kitashinshu.or.jp



設立20周年記念式典 4月23日飯山市文化交流館なちゅらにて



組合ホームページもあります。ぜひ、ご覧ください！
<http://www.jforest-kitashinshu.or.jp/>
スマートフォン対応となっています。

主な内容

- 設立20周年記念式典を開催しました 2～3
- 第21回通常総代会開催しました 4
- 令和3年度事業・決算関係 5
- 組合員の表彰行いました 5
- 令和4年度事業計画 6
- 組合員の除名について 6
- 旧おが粉工場が積雪により倒壊 7
- 異動届提出お願いします。 8
- 人事異動 8

感染拡大により内容縮小して記念式典を開催しました

飯山市文化交流館「なちゆり」で 記念式典を開催しました

四月二十三日（土）に飯山市文化交流館「なちゆり」で、組合設立二十周年記念式典を開催しました。

当初、「むささび45号」で皆様にご案内した内容での開催を計画していましたが、しかし、一月からの新型コロナウイルスの感染拡大にともない、内容を縮小しての開催となりました。

リレハンメルオリンピックで活躍された、野沢温泉村出身の西方仁也様のご厚意により、記念講演を予定しておりましたが、感染防止対策として縮小開催としたことから、断念いたしました。

北京オリンピックのノルディック複合で、木島平村出身の山本涼太選手の活躍などあり、西方様の講演を楽しみにされていた方も多いかと思えます。しかし、開催に向けた状況として、感染状況の劇的変化を期待して開催する訳にもいかず、たいへん残念ではあります。講演は中止とさせていただきます。

式典の招待につきましても、当初計画では来賓として国・県・市町村関係者から関係団体取引先等百三十名ほどの皆様を予定しておりましたが、縮小開催となることから限定した中で最小限の招待とさせていただきます。感染防止策を徹底した中での開催となりました。

出席いただきました総代の皆様には、総代会から長時間にわたり参加いただき、あらためて御礼申し上げます。

ご来賓として、長野県北信地域振興局長、北信森林管理署長、管内選出県議会議員、各

市町村長、各市町村議会議員、長野県森林組合連合会専務理事、近隣の森林組合長、当組合の元正副組合長の皆様に御臨席を賜りました。

竹内副組合長の開式のことばから始まり、清水組合長の主催者挨拶、元組合長への感謝状贈呈、二十年のあゆみを紹介、来賓祝辞は北信地域振興局長、北信森林管理署長、丸山県議会議員、飯山市長、飯山市議会議員、県森連専務理事の六名からいただきました。その後に来賓紹介を行い、最後に平田総務委員長の閉式のことばで式典は終了となりました。司会を務めていただいた、伊東ゆかり様の、機転の利いた進行で、たいへんすばらしい思い出深い式典となりました。



主催者挨拶をする清水組合長

組合長 挨拶 要旨

当組合の設立二十周年記念式典に、春作業等でお忙しい中、総代会に引き続きご出席いただきました総代の皆様、誠にありがとうございます。なおまた、ご来賓の皆様方にはご多用の中、ご臨席賜り、ご光彩を添えていただきましたことに、厚く御礼申し上げます。本日の式典は、依然として新型コロナウイルス感染拡大が続いている今の状況から、計画を大幅に変更・縮小しての開催とさせていただきます。このため皆様方には、何かとご不便等をおかけする点もあろうかと存じますが、ご理解のほど、お願い申し上げます。

さて、当組合は、平成十三年の合併から二十年、この間、木造住宅着工戸数の落込み、木材価格の低迷、高齢化による担い手不足等、林業を取り巻く環境は、非常に厳しい中、歴代役員の皆様の弛みないご尽力と、組合員の皆様のご協力、そしてご来賓の皆様を始めとする関係機関・関係団体の温かいご指導・ご支援によって、今日の日を迎えることができましたことに、深甚なる感謝と御礼を申し上げます。

当組合は、事業の効率化を目指して、森林境界明確化事業にいち早く着手するとともに、搬出間伐を中心とした事業を進めるため、直営林産班の組織化や高性能林業機械の整備も精力的に進めてまいりました。平成二十二年には、懸案の森林組合本所「創森館」が完成し、その後の事業運営に大きな弾みとなりました。平成二十八年度からは、信州大学等と連携して実施した、「レーザーセンシング情報を使用した持続的なスマート精密林業技術の開発」が、画期的な先進事例として注目され、こうした技術の有効活用により、生産性の更なる向上を目指して、事業を進めているところでございます。人工林が伐期を迎える中、林業は、厳しいながらも、新しい時代の到来が感じられる、様々な制

皆様のおかげをもちまして設立から20年経過しました

三人の元組合長に感謝状を贈呈

式典では、代表理事組合長として、組合運営にご尽力ください、当組合の発展に寄与された、その情熱と功績に敬意を表し、三人の元組合長に感謝状が贈呈されました。当日は、第四代組合長の高森壽實夫氏と第五代組合長の中山稿一氏が出席され、清水組合長から感謝状が贈られました。初代組合長の小山邦武氏は、所用のため欠席されました。なお、祝電をいただきましたので紹介いたします。

設立二十周年記念式典のご盛会を心からお慶び申し上げます。二十年前の立ち上げの頃の事を懐かしく思い起しております。森づくりは一朝一夕にはできない仕事であり素晴らしい事業です。

本日は出席叶わず誠に残念ですが皆様が今後なお一層のご躍進を遂げられますことを心よりご祈念申し上げます。本日は誠におめでとございます。

小山 邦武



出席された2名の元組合長に感謝状を贈呈



記念撮影に応じる高森氏と中山氏と清水組合長(右から)



20年のあゆみをパワーポイントで紹介

式典のメインとなる「二十年のあゆみ」では、パワーポイントと伊東ゆかり様のナレーションにより紹介されました。

国・県・市町村等からの請負事業が主であり、草刈り・藪刈りなどの造林事業が主体だった森林組合が、組合員の所有山林での受委託事業である、林産事業を主体とする森林組合に変貌するまでの経過と、そのための森林境界明確化の取組み、最新技術の導入などについて、当時の画像から振り返りました。そして、新たな取組みとともに、更なる発展を目指すことを誓いました。

度が動き出してきております。新たな森林管理制度は、市町村を主体とした森林整備を目指しておりますし、森林環境譲与税による財源補填、そしてまた、森林づくり県民税制度につきましても、林業県としての今後のため、その制度の継続を大いに期待しているところでございます。

パリ協定やSDGsの動きなどによっても、森林への意識や期待が高まってきております。そうした中で昨年春に起きたウッドショックは、今後の国産材安定供給の展望への課題も浮き彫りにしました。森林整備、木材生産が、木質バイオマス発電関連も含め、これまで以上に求められる社会に向けて、人材の確保や技術の向上、機械力の整備等による効率化を、一層進め、増産体制を整えていくことが強く求められております。

設立から二十年という節目に当たる令和三年度の決算は、お陰様でこれまでにない当期利益を計上することができました。これも偏に、歴代役員の皆様が、組合員の皆様とともに、大変なご苦労のもとに築き上げていただいた経営基盤があつてこそその結果で、改めて心から感謝申し上げます。令和四年度は、系統運動「J Forest 北信州森林組合ビジョン2030」の初年度に当たります。時代の変化に対応した新たな事業展開も盛り込んだ十年計画であります。これまでの間伐中心の展開から、樹齢に応じて主伐・再造林への移行や、バイオマス発電用燃料材など、広葉樹を対象とした事業展開も目指してまいります。北信州森林組合は、今日の日を一つの区切りとして、また、新しい歴史を刻み始めるわけでありますが、役員一同、組合員の皆様から、より頼りにされる組合を目指して頑張つてまいりますので、ご来賓の皆様、組合員の皆様、今後とも、ご指導ご支援の程、心よりお願い申し上げます。挨拶とさせていただきます。本日は誠にありがとうございました。

第21回通常総代会を開催しました。



感染防止のため、座席間隔を開けて開催しました。

令和四年四月二十三日（土）に飯山市文化交流館なちゅらにおいて第21回通常総代会を開催しました。総代総数二〇〇名のうち本人出席五十九人、書面出席八十九人、合計百四十八人の出席で、総代会議長に飯山地区選出総代の野口幸太郎さんを選出して議事が行われ、上程された十議案全て原案どおり承認・決定されました。出席率が大きく減少していますが、郵便事情が変わったため、二十五日（月）に届いた書面議決書が三十通（無効）もあり、次期開催に向けて対応を検討してまいります。また、新型コロナウイルス感染防止のため、来賓の皆様には設立二十周年記念式典だけの出席としていただき、組合員表彰と永年勤続表彰は紹介だけとさせていただきます。

令和三年度事業報告・収支決算

令和三年度もコロナ禍が続きましたが、経済活動は止まることなく、回復基調で動き始めました。世界規模で資材調達する経済システムでは、分断された供給網の修復は容易ではなく、多くの業種は資材不足に悩まされました。これは木材業界も例外ではなく、「ウッドショック」と呼ばれる社会現象に発展し、昨年とは打って変わって、旺盛な原木需要に対応することとなりました。また、ウッドショックにより原木価格が高騰し、販売面でプラス効果をもたらしました。事業全体では、初めての取組みとして、松本広域森林組合から受注した松くい虫被害木処理事業により、雪の影響を受けやすい時期の事業を確保することができました。

また、冬期事業では、飯山市内の積雪が十年ぶりに2mを超すなど、近年にない大雪になりました。このような状況から、素材生産量実績は二万四千五百七十一m³と前年の二万三千六百三十五m³を上回り、販売の取扱高は前年対比114%の一億二千四十万円となりました。

事業収益は、販売で七百八十七万円（前年対比41%）、森林整備で一億六千九百九十九万円（前年対比

損益計算書

(単位 千円)

事業総損益			
収益	431,437		
費用	276,578		
事業総利益		154,859	
事業損益			
人件費	89,993		
旅費交通費	278		
業務費	4,572		
諸税負担金	4,987		
施設費	2,892		
雑費	13,516		
管理費	815		
事業利益計		117,053	
事業外利益		37,806	
事業外損益		1,746	
特別損益		39,552	
特別損失		-976	
当期利益		38,577	
法人税引当金		703	
法人税		703	
前期繰越剰余金		37,874	
当期繰越剰余金		2,166	
当期末剰余金		40,040	

※千円未満については四捨五入ですが、合計を合わせるために切捨、切上しています。

令和3年度 剰余金処分案

(単位 千円)

I 当期末処分剰余金	40,040
II 法定準備金戻入	313
III 剰余金処分額	
任意積立金	
損失補填積立金	0
林業機械購入積立金	10,000
除雪車購入積立金	10,000
出資配当金(5%)	4,558
	24,558
IV 次期繰越剰余金	15,794

※千円単位で記載するため端数調整しています。

123%)となり、販売事業では、国有林立木公売を落札できなかったことから前年を大きく下回りましたが、森林整備では、国有林生産請負の事業量増加や松本広域森林組合との連携事業などが加わったことから増収となりました。利用では、利用事業収入が六千八百七十六万円（前年対比116%）、受託利用事業（除雪）が一億四千二百七十五万円（前年対比149%）となり、利用全体では前年対比131%の二億四千七百六十八万円となりました。全体の損益では、収益合計四億三千四百四十四万円（前年対比122%）に対して、費用合計が二億七千六百五十八万円（前年対比110%）となり、事業総利益は一億五千四百八十六万円と前年対比で153%、計画対比では136%と大きく上回る結果となりました。

事業管理費は一億千七百五十五万円（前年対比104%）で事業利益は三千七百八十二万円となり、事業外損益、特別損益を加えた、税引前当期利益は三千八百五十八万円と、組合設立以来、最高の結果となりました。

剰余金処分案では、平成二十六年以来となる出資配当（5%）を行うことが決定されました。なお、配当は賦課金との相殺を優先することとしています。

貸借対照表

令和4年2月28日現在 (単位 千円)

科目	金額	科目	金額	科目	金額	科目	金額
資産の部				負債の部		純資産の部	
流動資産				流動負債		出資金	
現金	743	建物付属設備	84	受託販売預り金	159,565	払込済出資金	91,170
預金	408,947	一括償却資産	0	買掛金	182		
売掛金	2,406	土地	34,631	未払金	38,570	資本剰余金	
未収金	170,891	森林	0	未払法人税等	703	資本準備金	781
短期貸付金	2,000	有形固定資産合計	67,980	短期借入金	2,000	資本剰余金合計	781
立替金	151,312			前受金	1,274		
仮払金	806	無形固定資産		前受収益	154	利益剰余金	
前渡金	0	水利権	113	貸倒引当金	0	法定準備金	182,652
貸倒引当金	△1,080	ソフトウェア	681	預り金	61,090	任意積立金	
有価証券	0	無形固定資産合計	794	未払費用	0	(1)損失補填積立金	213,758
たな卸資産	2,936					(2)除雪車購入積立金	10,000
その他	592	外部出資その他資産		流動負債合計	263,538	当期末処分剰余金	
		系統出資金	10,250			当期剰余金	37,874
		系統外出資金	1,120	固定負債		前期繰越剰余金	2,165
流動資産合計	739,553	差入保証金	112	農林漁業資金借入金	0	利益剰余金合計	446,449
固定資産		預託金	262	退職給付引当金	20,637		
		長期前払費用	2,917	役員退任慰労給付引当金	413		
有形固定資産		外部出資合計	14,661	固定負債合計	21,050	純資産合計	538,400
建物	24,519			負債合計	284,588		
構築物	7,760	固定資産合計	83,435				
機械装置	986						
車輛運搬具	0	資産合計	822,988			負債・純資産合計	822,988
工器具備品	0						

※千円単位で記載するため端数調整しています。

木材販売は、受託林産事業一萬二千七百七十一㎡、受託販売二萬四千二百四十四㎡を販売しました。木材生産量は、生産請負四萬三千三百㎡を含め一萬四千五百七十一㎡となりました。販売額では受託林産一億二千四百二十二万円、受託販売百十七万円となりました。

森林整備の主軸となる受託林産事業では、受託森林整備取扱高は前年対比129%の一億二千万円となり、収益となる管理費収入は三千七十五万円の前年対比111%の増となりました。請負事業では、林業公社、国有林などから造林事業や生産請負などで一億二千九百五十四万円、森林整備全体では収益一億六千二百一十万円となり、損益は六千四百六十九万円の前年対比198%となりました。

利用事業では、大雪により受託利用事業（除雪）が、前年対比で149%の1億四千二百七十五万円と大幅増収となり、利用事業も庭木の特種伐採や電力施設関連事業の受注が堅調で前年対比116%の六千八百七十六万円と増収となりました。利用全体の収益は、二億四千七百六十八万円となりました。

部門別損益

令和4年2月28日現在

収 益		(単位 千円)	
部 門	金 額	備 考	
指 導 部 門	4,359	試験金、実費収入	
販 売 部 門	7,874	販売品売上・林産手数料 他	
森 林 整 備 部 門	161,013	森林整備収入、森林請負収入 他	
利 用	247,682	調査収入、利用料、利用事業収入、受託利用事業収入 家賃収入 共済保険手数料 他	
購 買	10,502	事業物産売上 生活物産売上	
金 融	7	事業資金貸付利息 林業改善資金取扱手数料	
合 計	431,437		

費 用		(単位 千円)	
部 門	金 額	備 考	
指 導 部 門	5,530	総代会経費、広報紙発行費 他	
販 売 部 門	1,589	販売品原価 他	
森 林 整 備 部 門	96,321	森林整備費、森林請負費 他	
利 用	164,791	調査費、利用施設維持費、利用事業費、受託利用事業費 研修施設維持費 他	
購 買	8,345	事業物産売上原価 生活物産売上原価	
金 融	2	事業資金借入利息	
合 計	276,578		

※千円単位で記載するため端数調整しています。

受託販売取扱高	1,171 千円
受託林産取扱高	120,405 千円
受託森林整備取扱高	120,004 千円

組合員・職員の表彰の紹介

総代会では、受託林産事業において、素材生産の取扱量が特に優れていた、団体および個人の表彰を行っておりますが、今回は下記の二名の方の受賞の紹介があり、後日、感謝状と金一封が届けられました。

また、職員の全国森林組合連合会と長野県森林組合連合会の永年勤続表彰について紹介がありました。表彰者は下記のとおりとなっております。

令和3年度受託林産事業素材生産量第1位

団体の部 山ノ内町(株) 佐野共有林 様 出材量 1050㎡
 個人の部 山ノ内町 小林 利雄 様 出材量 373㎡

永年勤続職員

林産班員 片塩 秀樹 勤続 20年以上 (全森)
 参事 田中 忠 勤続 20年以上 (全森)
 利用事業室長 高橋 優 勤続 20年以上 (全森)
 林産班班長 島田 裕太 勤続 20年以上 (県森)
 業務課計画係 川久保 純 勤続 10年以上 (県森)
 業務課計画係 清水謙士郎 勤続 10年以上 (県森)

令和四年度事業計画

今年度は「J Forest 北信州森林組合ビジョン2030」がスタートします。木材生産の主体を間伐から主伐へ徐々に移行できるように、新システム導入やICT活用を含めた効率化を進め、より安定した経営と組合員サービスの向上に努めます。人材確保や技術の向上、機械力の整備を積極的に進め、増産体制を目指します。栄村地籍に計画されている木質バイオマス発電所への対応については、必要に応じて中期計画の見直しや広葉樹の活用、施設整備などを検討し事業を進めます。森林税第三期の最終年度となりますが、森林・林業には必須の制度であり、その継続を関係団体の皆様と連携して県に強く要望いたします。木材販売では、地域の製材工場、系統を通じた大規模需要者への販売、バイオマス燃料やオガ粉原料など様々な需要先への有利販売を進め、組合員へより多くの還元ができるよう努めてまいります。公的機関発注の事業については、国有林、長野県、中野市、飯山市、山ノ内町、木島平村、野沢温泉村、妙高市から発注される森林整備事業等に参加する予定です。また、長野県林業公社、国立研究開発法人森林研究・整備機構から委託される森林整備を実施する予定です。事業実施に当たっては、コンプライアンスの徹底を図って進めます。

令和4年度損益計画

(単位千円)

事業総損益			
収益	益	374,351	
費用	費用	249,988	
	事業総利益		124,363
事業管理費	事業利益	125,785	-1,422
事業外損益	経常利益	700	-722
特別損益		7,000	
税引前当期利益			6,278
法人税・住民税及び事業税			703
当期剰余金			5,575
前期繰越剰余金			15,794
当期末処分剰余金			21,369

令和四年度の取扱計画は、収益三億七千四百三十五万円、受託販売百万円、受託林産一億二千七百十八万円、受託森林整備九千万円で合計五億九千二百五十三万円程の取扱いを計画しています。昨年度から進めていきました、本所駐車場の拡張について農振解除、農地転用が許可となりました。今後、駐車場造成工事に取り掛かります。また、大雪で倒壊した旧おが粉工場建屋の新築を含めた赤坂林産事業所の再整備、IOTハーベスタの導入など固定資産取得を計画しています。

令和4年度部門別損益計画

収 益		費 用	
部 門	金 額	部 門	金 額
指 導 部 門	4,300	指 導 部 門	5,100
販 売 部 門	10,409	販 売 部 門	3,004
森 林 整 備 部 門	115,693	森 林 整 備 部 門	76,005
利 用	231,995	利 用	155,993
購 買	11,950	購 買	9,885
金 融	4	金 融	1
合 計	374,351	合 計	249,988

受託販売取扱高	1,000
受託林産取扱高	127,176
受託森林整備取扱高	90,000

除名対象人数

地 区	賦課金未納期間	対象人数
中野	平成30年度から未納	2名
	小計	2名
飯山	平成30年度から未納	4名
	小計	4名
山ノ内	平成30年度から未納	3名
	小計	3名
木島平	平成30年度から未納	3名
	小計	3名
野沢温泉	平成30年度から未納	0名
	小計	0名
豊田	平成30年度から未納	0名
	小計	0名
合計		12名

第十号議案で左表の十二名について、除名を決定いただきました。これまで何度も納入のお願いを行ってきています。また、同時に脱退届の提出を勧めています。広報誌でも広報しましたが、まったく応じていただけませんので、今回3年以上未納となっている方について、除名について附議し、決定いただきました。また、除名決議通知書により弁明の機会を設ける旨をお知らせしましたが、異議、弁明についての申し出はありませんでしたので、皆さん同意されたものとみなし、今回の議決に至りました。出資金については、未納賦課金との相殺を優先します。該当される方は、相殺後残金の請求等については、総務課まで問い合わせ下さい。

組合員の除名について

赤坂林産事業所の旧おが粉工場が積雪により倒壊



倒壊前 R4.2.26 PM5 時頃 防犯カメラ画像



以前の建物の姿



解体撤去工事完了後の状況

令和四年二月二十六日の夜間に山ノ内町大字夜間瀬にあります赤坂林産事業所の旧おが粉工場（昭和六十年建設）の建屋が、積雪により倒壊してしまいました。

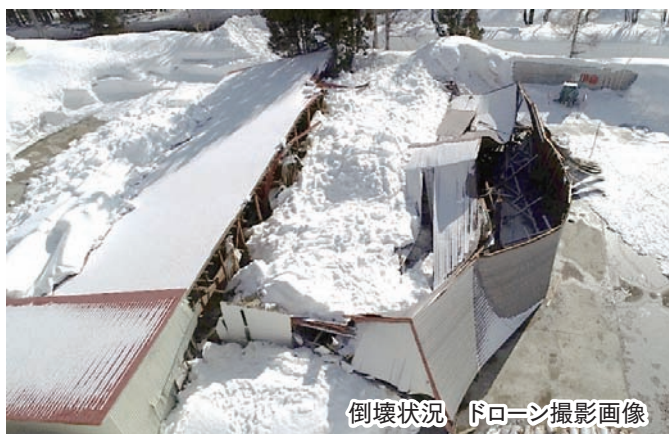
防犯カメラの録画画像から午後九時頃に倒壊したと思われます。

赤坂林産事業所の他の建物については、雪下ろしを二回行っていますが、この建物の屋根は自然落下となっており、雪下ろしはしませんでした。今年は一月に一回落下しております。

これまでも何度か豪雪を経験してきましたが、何ら問題はありませんでしたので、このような倒壊が起るとは、まったく予想できませんでした。



倒壊状況



倒壊状況 ドローン撮影画像

総代会で赤坂林産事業所の再整備が決定されました。また、倒壊した建物の火災保険から保険金千四百万円ほどが入ることとなりました。

四月に解体撤去工事入札を行い、山岸木材材（株）が落札し工事は完了しています。

この場所に鉄骨により、切妻屋根の勾配をこれまでの南北から東西に変更した建屋建設を計画しています。倒壊した建屋内にあった給油所の移動式屋根も損壊したことから、給油所の屋根も必要であり、事務所棟も劣化が酷いため、新しい建物内に事務所を移すことなど、赤坂林産事業所の再整備を行うこととしています。

現在、設計士と検討を行っておりますが、冬季除雪事業に間に合うように、建設を進めてまいります。

異動届の提出をお願いします。

相続や住所変更の時は、必ず森林組合への異動届の提出を！！

二十周年記念誌が届きません。



毎日このように宛先不明で戻ってきています。

設立二十周年記念誌を各組合員へ郵送しています。郵便局の都合で一日に三百通程度が発送されています。

ところが、毎日、写真のように宛先不明で戻ってくるものがあります。

組合員台帳にある住所と、実際の住所が違っていることが多いようです。特に、近くであっても地番の違う土地に家を建てたということが原因として多いようです。

このような場合に、住民票の住所変更をされていても、森林組合の組合員台帳の住所が変更になることはありません。

かつて、森林組合の事務所が役場内であったことから、市町村と同じように思われている方が多いと思います。森林組合は市町村とは別の組織です。森林組合への届出も必要になります。

相続された時や、住所が変わった時は、異動届の提出が必要になります。必ず届け出をお願いいたします。

異動届の様式は、本所・利用事業室にありますので、それぞれの事務所にお越しいただければ、記入の仕方を説明して様式をお渡しいたします。

また、都合の付かない方は、電話でご相談いただければと思います。届出様式をお送りいたします。

インターネットをご利用いただける方は、北信州森林組合ホームページの「組合員の方へ」をクリックで開いていただければ、異動届様式をPDFで入手いただけます。

届出がされないと、今回のように郵送ができませんし、重要事項が発生してもお伝えできなくなります。

森林組合では、皆さんからの届出がないと台帳の記載事項の変更ができませんので、変更がありましたら、必ず異動届の提出をお願いいたします。

ご不明な点などありましたら、お気軽に本所・利用事業室にご相談ください。

よろしくお願いたします。

設立20周年記念誌の掲載内容に

誤りがありました。

◇28ページ 主な出来事

長野県林業関係コンクール受賞

(正) 渡辺栄次氏 県森連会長賞

(誤) 渡辺則雄氏 県森連会長賞

組合員の皆さま並びに関係各位にご迷惑をお掛けしましたことをお詫びするとともに、ここに訂正させていただきます。

3月31日付人事異動

定年退職

参事 田中 忠

再雇用

参事 田中 忠

総務課会計係

主事 小林和江

4月1日付人事異動

異動

業務課事業係

主任 中沢千恵子

(主事)

業務課利用事業室

技師 平田昌美

新規採用

造林班

技能職員 河野大夢

業務課計画係

主任 河野 透(技師)

技師 川久保純

(森林施業技術員)

本 所

〒383-0061

中野市大字壁田938番地1
TEL 0269-38-0371(代)
FAX 0269-23-5350

利用事業室

〒389-2255

飯山市大字静間383番地14
TEL 0269-62-8111
FAX 0269-67-0120

編集後記

20周年記念誌は皆さんのところに届いたでしょうか。記念誌と記念品、系統運動方針冊子を同封して700gとなります。郵便局でも1日に多くは扱えないということで、何日もかかってしまいました。役職員で頑張って製作した記念誌です、ぜひご覧ください。